

厚生文教委員会 活動報告書（平成30年4月～）

活動日	項目	内容
4月11日（水）	閉会中の調査	<p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」</p> <p>市が発行している「子育てハンドブック」を資料とし、就学後の子どもの居場所（学童保育、ランドセル来館）などの現状について担当部課長に説明を求め、質疑等を行いました。</p>
5月9日（水）	行政視察	<p>◆視察先：静岡県 藤枝市 （健康福祉部 健やか推進局 健康企画課）</p> <p>◆視察項目：「健康マイレージをはじめとした『健康・予防 日本一ふじえだプロジェクト』の取り組みについて」</p> <p>藤枝市の取り組みは厚生労働省が行った「第1回健康寿命をのぼそう！アワード」（H25年）で自治体部門優良賞を受賞。東大和市でも高齢者の介護予防を目的に“元気ゆうゆうポイント”を導入しているが、藤枝市では高齢者を対象とした介護予防としてだけでなく、30代、40代の働き盛り＝忙しくて健康に留意できない世代にも参加してもらえるような取り組みを様々展開し、市民が気軽に楽しく健康づくりに取り組める施策を展開している。その取り組みは市民だけではなく、企業や各種団体を巻き込んだものにまで発展していました。東大和市としても大いに参考となる具体的な事例や職員の取り組み姿勢を学ぶことができました。</p>

<p>5月10日（木）</p>	<p>行政視察</p>	<p>◆視察先：静岡県 焼津市 （健康福祉部地域福祉課）</p> <p>◆視察項目：「放課後等デイサービスについて」</p> <p>焼津市は人口約14万人、小学校13校の規模の自治体ですが、9法人（株式会社7、社会福祉法人1、NPO法人1）で運営されている放課後等デイサービスが13カ所あり、特別支援学校または、特別支援学級に在籍する児童・生徒が対象となっています。東大和市も人口の規模や小学校数からすると放課後等デイサービスは8～10カ所程度は必要ではないかと考えられますが、現状では4事業所にとどまっております。利用者の4割以上が近隣他市の事業所を利用しています。今回、焼津市の取り組みを視察し、行政と事業者との関係や市の取り組み方について学んだことは、東大和市の取り組みにも大いに参考になりました。</p> <p>◆視察先：愛知県 岩倉市 （教育こども未来部子育て支援課）</p> <p>◆視察項目：「岩倉市子ども条例について」</p> <p>いじめ・自殺・非行・少年犯罪・児童虐待など子どもを取り巻く社会現象の原因として、「自己肯定感の欠如」「自己存在感の喪失」「親の子どもに対する子どもの権利意識の欠如」などがあることから、岩倉市は、将来にわたって安心して子どもたちが暮らすことのできるまちづくりを推進していくための規範として“子ども条例”を10年前に制定しました。多くの市民の参加によるワークショップなどを経て制定にいたった過程や市役所の子どもに対するコーナー設置などから、市全体で子どもを大切に考えている姿勢がうかがえました。東大和市も“日本一子育てしやすいまち”を目標に様々な施策を展</p>
-----------------	-------------	--

<p>6月15日（金）</p>	<p>定例会中の審査</p>	<p>開していますが、“子育てしやすい”という大人や保護者の目線から一歩進んだ“子どもにとって良いまち”というものを考えた際、子ども条例の制定にはどのような意義があるのか学ぶことができました。</p> <p>◆議案審査</p> <p>◇第48号議案 東大和市民会館の指定管理者の指定についての審査を副市長、企画財政部長、市民部長及び関係課長の出席を求め行いました。</p> <p>審査では今回、提案された指定管理者が平成21年度から25年度までの市民会館の指定管理者だったため、前回の選考で選ばれなかった理由および今回、選ばれた理由などについて確認しました。</p> <p>また、指定管理者制度を導入することの基本となるコスト削減、民間事業者の持っている知見を活用したサービスの向上についての認識も確認したほか、東大和市が進めている“日本一子育てしやすいまち”ならびに、地域の活性化に対し、当該、事業者の提案内容ならびにそれらに対する市の期待についても確認しました。</p> <p>また、自由討議では指定管理者に対する要望と市の選考方法に危機管理についても入れるよう要望が出ました。</p> <p>質疑、自由討議を終了後、討論はなく、直ちに採決を行った結果、全会一致で原案どおり可決と決しました。</p> <p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」</p> <p>学校教育について「小中一貫教育」「学校指導要領変更に対する対応」また、「アクティブラーニング」の現状と課題について学校教育部長ならびに関係課長から</p>
-----------------	----------------	---

6月20日（水）	定例会中の協議	<p>説明を受けました。説明に対する質疑を行った後、アクティブラーニングの現状を確認するため、市内の学校で行われる研究事業を視察することに決定しました。</p> <p>◆5月9日と10日に実施した委員会行政視察について、各委員が所感を述べ合いました。</p> <p>◆所管事務調査のための現地視察の変更 予定していた市内学校の研究事業の現地視察については、日程等諸般の事情により変更が必要となったため、議長に要求していた委員派遣について取り下げることを決定しました。</p>
9月19日（水）	定例会中の協議	<p>◆所管事務調査のための現地視察について、10月22日に東大和市立第八小学校を視察することを決定し、委員派遣について議長に要求することを決定しました。</p>
10月22日（月）	行政視察	<p>◆小学校の英語教育の実態を調査するため、第八小学校で行われた研究授業ならびに、授業後の全体協議会を視察しました。</p>
11月2日（金）	閉会中の調査	<p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」</p> <p>10月22日に実施した委員会行政視察について、各委員が所感を述べ合い、また、不明点などについて教育委員会に確認を行いました。</p> <p>また、長年、課題となっている東大和市の子ども達の虫歯罹患率の現状について、担当部課長に説明を求め、質疑等を行いました。</p>

<p>12月14日（金）</p> <p>平成31年</p>	<p>定例会中の協議</p>	<p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」</p> <p>2年間にわたる調査内容の取りまとめについて確認し、協議しました。調査結果を踏まえて、委員会としての提言を取りまとめることになりました。</p>
<p>1月28日（月）</p>	<p>閉会中の調査</p>	<p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」</p> <p>12月14日の委員会の協議内容を踏まえた正副委員長作成の報告書案の内容について確認するとともに意見交換を行いました。</p>
<p>1月29日（火）</p>	<p>閉会中の審査</p>	<p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」の報告書案の最終的な確認を行いました。</p>
<p>3月8日（金）</p>	<p>定例会中の審査</p>	<p>◆議案審査</p> <p>◇第23号議案 東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の審査を副市長、市民部長及び関係課長の出席を求め行いました。</p> <p>審査では現在のモデルケースでの国民健康保険税の年額ならびに、値上げ後の年額、そして市が計画をしている6年間の値上げの最終的な年額を確認しました。また、全国ならびに東京都26市の対応についても確認したと同時に、広域化の目的と国からの一般会計からの赤字補填繰り入れの解消に関する要請に対する市の考え方も確認しました。さらに、今回の改正を見送った場合の影響と国保税の負担抑制に対する市の取り組みについてなど、様々な角度からの改正の影響を確認しました。</p> <p>その後、自由討議を終了したのち、討論</p>

		<p>を行いました。討論は1件で、反対の立場からのものでした。討論終了後、直ちに起立により採決を行った結果、起立多数により、第23号議案 東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例は原案どおり可決と決しました。</p> <p>◆所管事務調査「日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について」 報告書案の最終確認を行いました。</p>
--	--	--